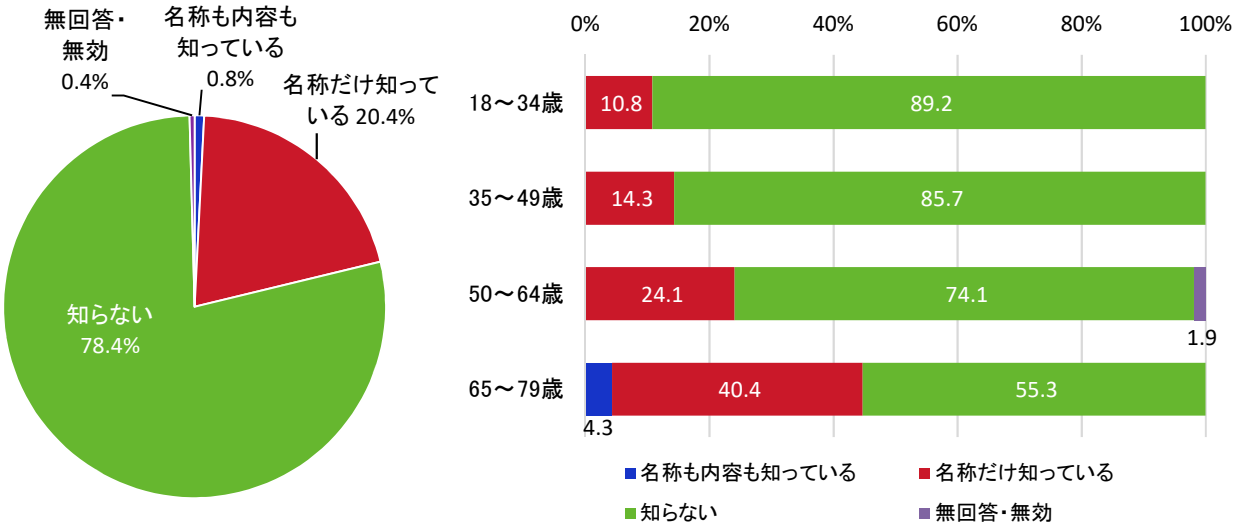
＜災害に強いまちづくりについて＞

■問1　浜松市防災都市づくり計画策定の認知度　（n=245）



- 浜松市防災都市づくり計画策定の認知度については、全体では『知っている』（「名称も内容も知っている」と「名称だけ知っている」の合計）が21.2%、「知らない」が78.4%となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

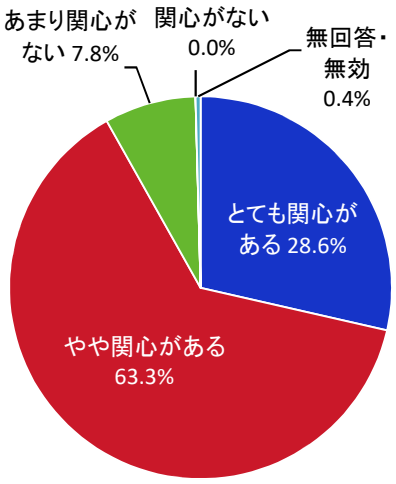
■問2　浜松市防災都市づくり計画から防災への関心が高まったか　（n=2）

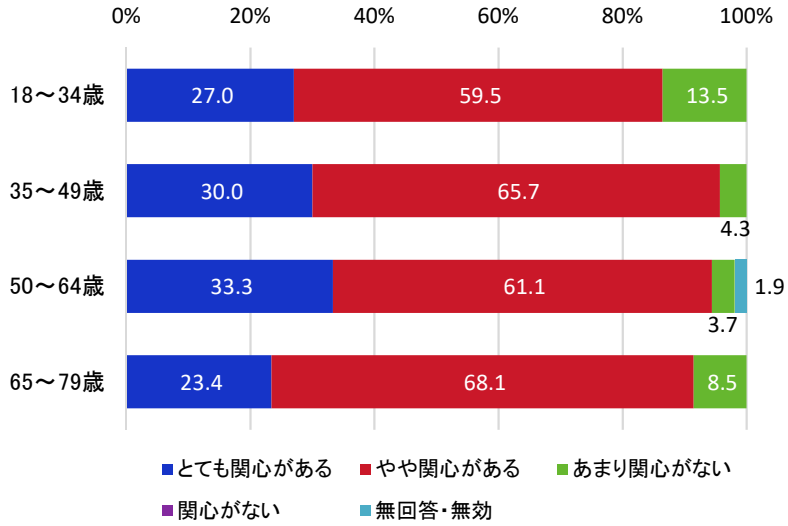
（問1で「名称も内容も知っている」と回答した人）

カテゴリ	人数
非常に高まった	1
やや高まった	1
あまり高まらなかった	0
高まらなかった	0

- 浜松市防災都市づくり計画から防災への関心が高まったかについては、回答者が2人で、「非常に高まった」と「やや高まった」が1人ずつとなっています。

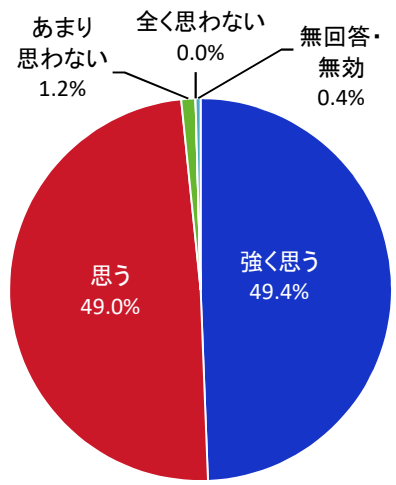
■問3　防災対策への関心度　（n=245）

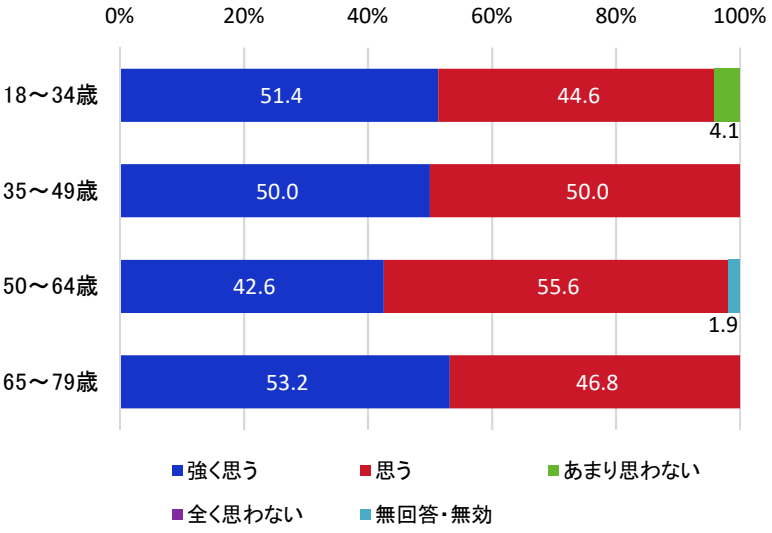




- 防災対策への関心度については、全体では『関心がある』（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）が91.9%、となっています。
- 世代別にみると、『関心がある』は35～49歳が95.7%と最も多く、18～34歳は86.5%、50～64歳は94.4%、65～79歳は91.5%となっています。

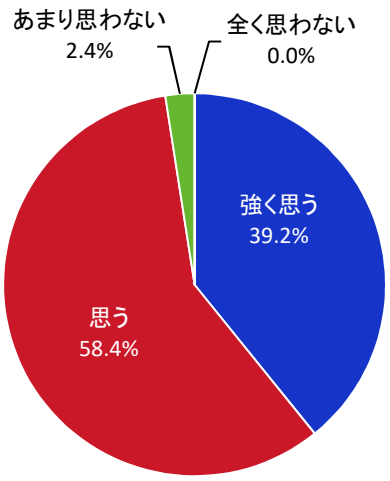
■問4　防災対策の自助として、自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思うか　（n=245）

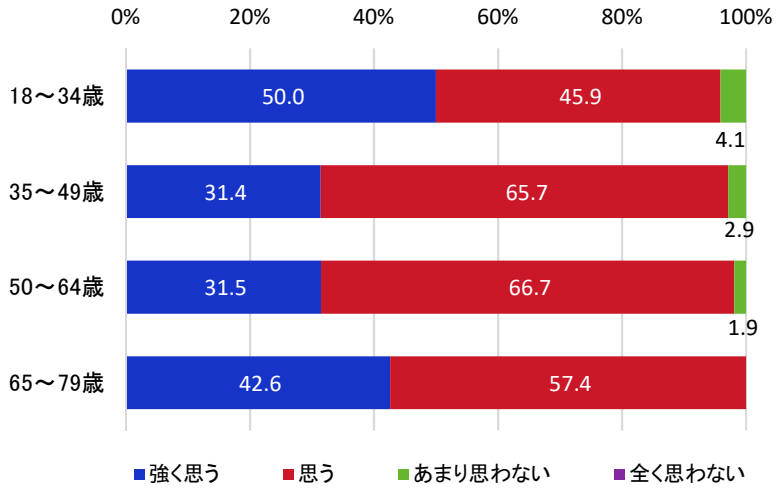




- 防災対策の自助として、自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思うかについては、全体では『そう思う』（「強く思う」と「思う」の合計）が98.4%となっています。
- 世代別にみると、『そう思う』は35～49歳と65～79歳が100%、18～34歳が96.0%、50～64歳が98.2%となっています。

■問5　防災対策の共助として、地域全体で協力することが大切と思うか　（n=245）

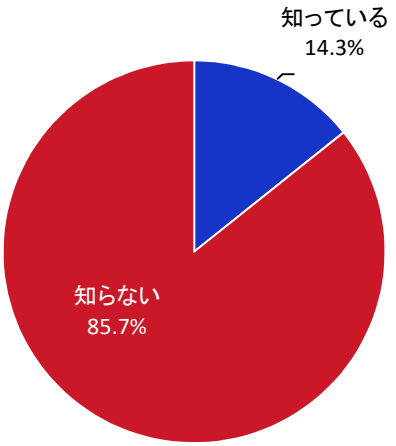


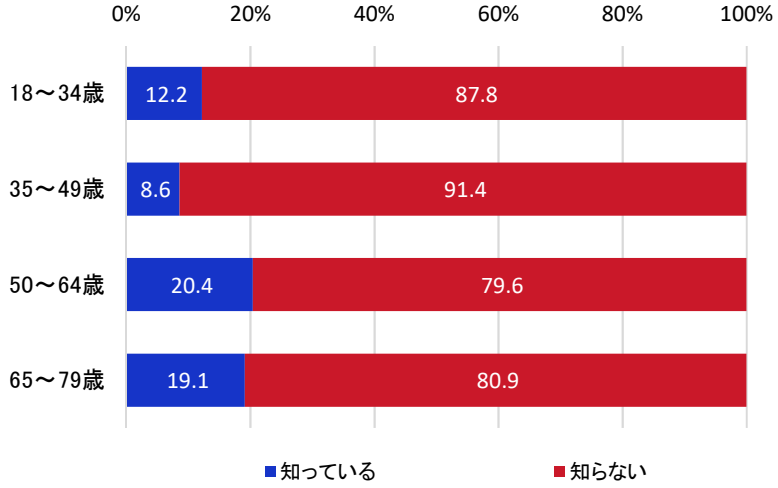


- 防災対策の共助として、地域全体で協力することが大切と思うかについては、全体では『そう思う』（「強く思う」と「思う」の合計）が97.6%、『そう思わない』（「あまり思わない」と「全く思わない」の合計）が2.4%となっています。
- 世代別にみると、『そう思う』は65～79歳が100%と最も多く、50～64歳が98.2%、35～49歳が97.1%、18～34歳が95.9%と、世代が高くなるにつれて『そう思う』の回答割合が高くなっています。

■問6 「事前復興準備」※の認知度　（n=245）

※事前復興準備とは、普段から災害が発生した時のことを想定し、復興に役立つ対策を事前に準備すること

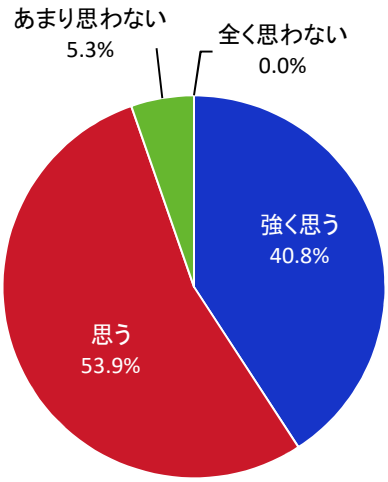


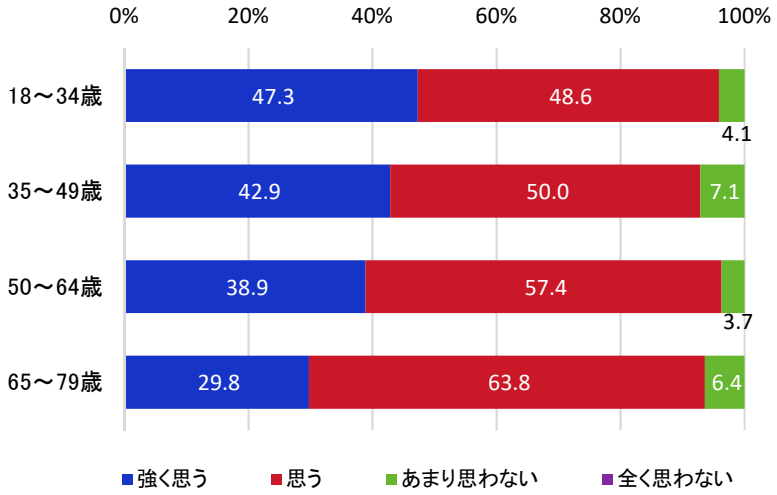


- 「事前復興準備」の認知度については、全体では「知っている」が14.3%、「知らない」が85.7%となっています。
- 世代別にみると、「知らない」は35～49歳が91.4%と最も多く、18～34歳が87.8%、50～64歳が79.6%、65～79歳が80.9%となっています。

■問7　住んでいる地域は災害に強いまちづくりや事前復興準備が必要か

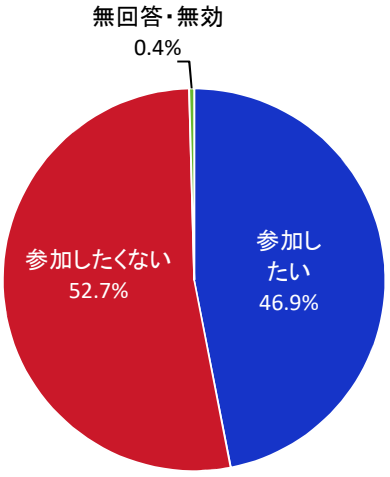
（n=245）

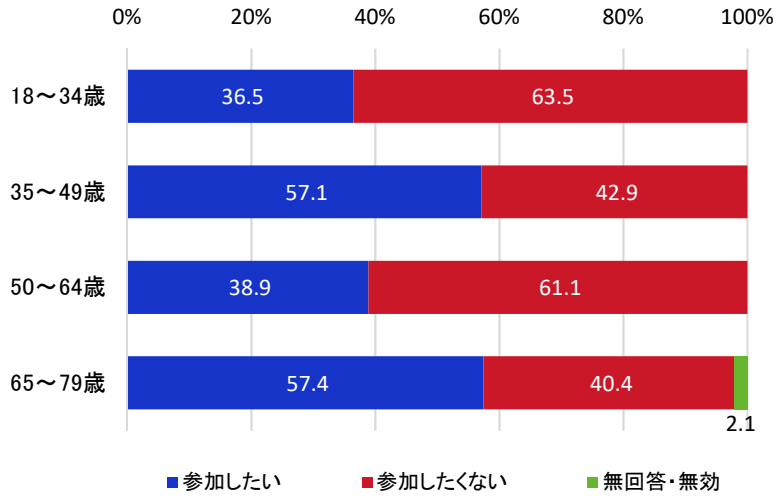




- 住んでいる地域は災害に強いまちづくりや事前復興準備が必要かについては、全体では『そう思う』（「強く思う」と「思う」の合計）が94.7%、『思わない』（「あまり思わない」と「全く思わない」の合計）が5.3%となっています。
- 世代別にみると、『そう思う』は50～64歳が96.3%と最も多く、18～34歳は95.9%、35～49歳は92.9%、65～79歳は93.6%となっています。

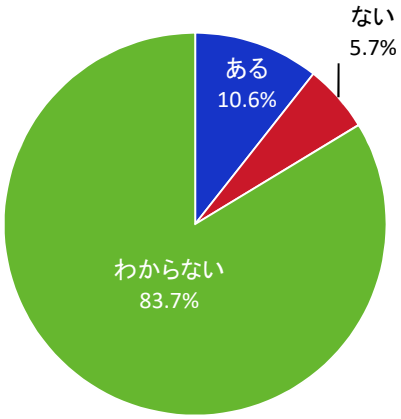
■問8　今後、災害に強いまちづくりや事前復興準備を考える勉強会に参加したいと思うか　（n=245）

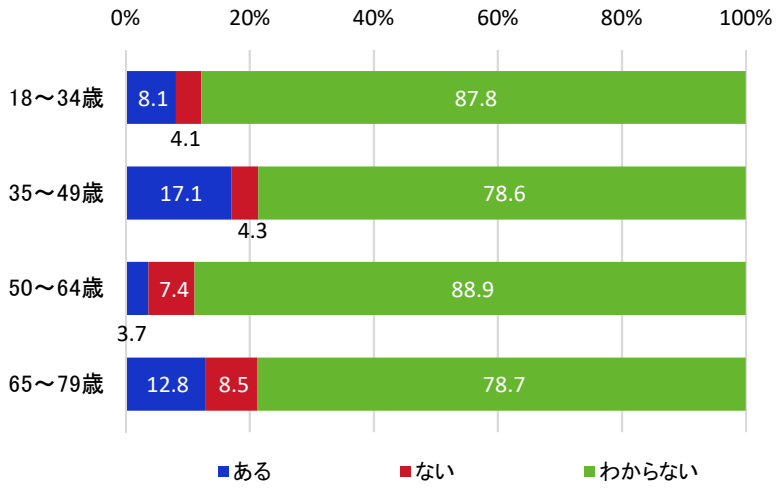




- 今後、災害に強いまちづくりや事前復興準備を考える勉強会に参加したいと思うかについては、全体では「参加したい」が46.9%、「参加したくない」が52.7%となっています。
- 世代別にみると、35～49歳と65～79歳は「参加したい」が「参加したくない」の回答割合を上回るものの、18～34歳と50～64歳は「参加したくない」が上回っています。

■問9　住んでいる地域で、すでに災害に強いまちづくりに向けた取り組みがあるか　（n=245）





- 住んでいる地域で、すでに災害に強いまちづくりに向けた取り組みがあるかについては、全体では「わからない」が83.7%と最も多く、「ある」が10.6%、「ない」が5.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「わからない」が最も多いものの、「ある」は35～49歳が17.1%と最も多く、18～34歳は8.1%、50～64歳は3.7%、65～79歳が12.8%となっています。